

情報環境機構

高度な安全性と利便性を備えた先端的情報環境の構築・運営により
教育・研究をはじめとする京都大学の諸活動を支えています

京都大学では「情報環境機構」が学術情報メディアセンターと協力し、学内外を高速で結ぶ学術情報ネットワークサービス(KUINS)、全国共同利用のスーパーコンピューティングサービス、本学での教育を支援する教育用コンピュータシステムと語学学習システム、遠隔講義システムなど、さまざまな情報教育支援を行っています。



教育用コンピュータシステム

「教育用コンピュータシステム」は京都大学の学生・教職員が授業や自主学習のために利用できるシステムです。ネットワークに接続されたPC端末約1,400台を学術情報メディアセンター南館内の各室30カ所に展開しています。その一部は利用者がいつでも使える自習用端末とし、学術情報メディアセンター北館や附属図書館、桂キャンパスにも設置しています。

これらのPC端末は「Windows」と「Linux」の2系統オペレーティングシステムが利用でき、オフィスソフトの他にもプログラミング、統計処理、数式処理など、大学での学修に必要なさまざまなソフトウェアが導入されています。授業と自習の統合的な情報環境を提供すると共に、電子メールやWWWを利用したコミュニケーション環境を提供しています。



CALL / CALL 自律学習 / CALL Learning Space

「CALL(コール)」とは、コンピュータを使用した外国語学習を意味する「Computer-Assisted Language Learning」の略称です。CALL授業には「教室学習型CALL」と「自律学習型CALL」があります。「自律学習型CALL」クラスは、学生が大学の自習室や自宅などのコンピュータが使用できる環境でCALL用に開発された電子教材を用い、時間や場所に拘束されることなく学習することができます。現在、京都大学では英語に限らず、初修外国語にも「自律学習型CALL」と「教室型CALL」を導入しています。

図書館

貴重な資料やデータベースなどの充実した学術情報と最新の施設・設備による学習・研究支援を行っています

「附属図書館」は学習・教育・研究支援機能を備え、学生や教職員をはじめ、学術情報を必要とする人々に幅広いサービスを提供しています。あわせて図書館を学習・研究に積極活用してもらうため、文献の入手方法やデータベースの利用方法をはじめとする各種講習会、新入生や留学生のためのオリエンテーションなどを実施しています。なお京都大学には附属図書館に約98万冊、全学で約701万冊の蔵書があります。創立より119年にわたる歴史をもつ附属図書館の蔵書には学習用図書その他、国宝「今昔物語集鈴鹿本」をはじめとする古文書や特殊文庫、全集系のコレクションなど、貴重な資料が数多くふくまれています。さらに電子ジャーナル(約9万タイトル)や電子ブック(約40万タイトル)、データベース(約100種類)なども提供しています。館内の施設・設備等は次の通りです。



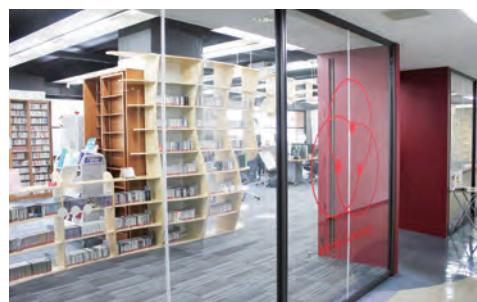
ラーニング・コモンズ

組替自由な机やホワイトボード、プロジェクター、電子黒板、大型ディスプレイ、無線LANなどを備え、約100座席があります。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションや展示、イベントなどの多様な利用に対応しています。あわせて学習サポートデスクも設置されており、さまざまな分野の大学院生スタッフが、図書館の利用方法や学習に関する相談に対応しています。



その他の施設

- 共同研究室(5室) / グループでの共同研究や学習に利用します。少人数から20名程度まで利用できます。
- 研究個室(14室) / 大学院生と教員が研究・調査のために利用します。
- メディア・コモンズ / 音楽や映画鑑賞、語学学習などに利用します。防音設備を施したメディア・シアターもあります。



学習室24



附属図書館の閉館後、朝まで勉強できる自学自習のスペースです。室内には「自学24」と飲食や談話ができる「なごみ」をあわせて140席あり、夜間のセキュリティにも配慮しています。無線LANも利用可能です。

これらの他、PCや電卓などの音の出る機器の利用を制限している「サイレント エリア」、約100台のパソコンがある「PC エリア」などがあります。館内は地下書庫をふくめ、全館で無線LANが利用できます。

- 他の図書館・図書室 / 京都大学には附属図書館の他、学部や研究所などの図書館・図書室が50施設ほどあります。

Point

蔵書検索システム KULINE

- 「KULINE(クライン)」は、京都大学が所蔵する図書や雑誌を検索するシステムです。必要とする資料が学内に約50施設ある図書館・図書室のどこにあるかを調べることができます。
- ケータイ版やスマートフォンアプリもあり、検索すれば電子ジャーナルや電子ブックを用いて本文まで辿り着けます。
- 他にも「論文検索」や「貴重資料画像」、「他大学検索」などの機能があります。
- 「MyKULINE」というサービスもあり、京大生がログインして使うWeb図書館として機能しています。パソコンから借りている図書の返却日を延長したり、予約をしたりといったことができ、文献の取寄せ申込みも行えます。

海外留学・国際交流

グローバルに活躍する人材を育むために 多様な海外留学プログラムを用意しています

京都大学では進捗し続ける社会の国際化に対応し、グローバルに活躍する人材を育むために、多様な海外留学プログラムを用意しています。実践的な外国語運用能力を身につけることはもちろん、幅広い視野・視点や多様な思考力を養う機会となる海外留学は、学生の間に取り組んでおきたいことのひとつです。



学生交流協定校への交換留学

京都大学に在籍しながら1学期から1年の間、海外の大学(学生交流協定校)に留学する制度です。その間、協定校の科目を履修することで単位が取得でき、研究に関する指導も受けられます。また、協定校への出願手続きは京都大学を通じて行え、留学先の授業料を支払う必要はありません。なお京都大学は現在、約30か国・地域に広がる約110校と大学間学生交流協定を締結しています。

学生交流協定校(2017年3月現在)

アジア

■ブルネイ/ブルネイ・ダルサラーム大学 ■中国/復旦大学 香港科技大学 香港大学 香港中文大学 南京大学 北京大学 清華大学 中国科学技術大学 武漢大学 浙江大学 上海交通大学 西安交通大学 南開大学 香港理工大学 ■インド/バラナシ・ヒンドゥー大学 インド工科大学グワハチ校 ■インドネシア/インドネシア大学 バンドン工科大学 ガジャマダ大学 ■大韓民国/高麗大学校 慶北大学校 浦項工科大学 ソウル大学校 延世大学校 ■マレーシア/マラヤ大学 マレーシア工科大学 ■フィリピン/フィリピン大学 ■シンガポール/シンガポール国立大学 南洋理工大学 ■台湾/国立台湾大学 国立清華大学 ■タイ/チュラロンコン大学 カセサート大学 タマサート大学 チェンマイ大学 ■ベトナム/ベトナム国家大学ハノイ校 フェ工科大学 ダナン大学

中東

■イスラエル/テルアビブ大学 ■トルコ/コッチ大学

オセアニア

■オーストラリア/メルボルン大学 ニューサウスウェールズ大学 シドニー大学 オーストラリア国立大学 クイーンズランド大学 ■ニュージーランド/オークランド大学 オタコ大学

ヨーロッパ

■オーストリア/ウィーン大学 ■ベルギー/ルーバン・カトリック大学 ■フィンランド/ヘルシンキ大学 ■フランス/グルノーブル大学連合(以下5大学/グルノーブル・アルプ大学 グルノーブル理工科大学 グルノーブル政治学院 サヴォワ大学 グルノーブル国立建築大学) ストラスブール大学 パリ政治学院 エコール・ノルマル・シュペリウール ボルドー大学 パリ第7大学 パリ国立高等鉱業学校 フランス国立東洋言語文化研究所(INALCO) ■ドイツ/ベルリン自由大学 フンボルト大学 ミュンヘン大学 ハイデルベルク大学 ミュンヘン工科大学 ボン大学 ケッティンゲン大学 カールスルーエ工科大学 アーヘン工科大学 ベルリン工科大学 ケルン大学 ■アイスランド/アイスランド大学 ■アイルランド/アイルランド国立大学ダブリン校 ダブリン大学トリニティ・カレッジ ■イタリア/ミラノ工科大学 ヴェネツィア大学 ■オランダ/ライデン大学 ユトレヒト大学 フローニンゲン大学 ■ノルウェー/ノルウェー科学技術大学 ■ルクセンブルク/ルクセンブルク大学 ■スペイン/バルセロナ大学 バルセロナ自治大学 ■スウェーデン/スウェーデン王立工科大学 ストックホルム大学 ウプサラ大学 ■スイス/ローザンヌ大学 チューリッヒ大学 スイス連邦工科大学ローザンヌ校 ■英国/マンチェスター大学 シェフィールド大学 ブリストル大学 バーミンガム大学 ニューキャッスル大学 エジンバラ大学 サウサンプトン大学 キングス・カレッジ・ロンドン グラスゴー大学 サセックス大学 リーズ大学

北米

■カナダ/ケベック州大学学長校長協議会(以下11大学/ビショップス大学 ラヴァル大学 モントリオール理工科大学 シュルブルック大学 ケベック大学モントリオール校 ケベック大学リムスキー校 ケベック大学トロ・ヴィエール校 ケベック大学アビチビ・テミスカミング校 ケベック大学ウタウエ校 ケベック大学州立行政学院 ケベック大学 高等工科大学) マギル大学 コンコルディア大学 トロント大学 ウォーターloo大学 プリティッシュコロンビア大学 ■アメリカ合衆国/ジョージ・ワシントン大学 ハワイ大学マノアキャンパス ペンシルベニア大学 ワシントン大学 ウィスコンシン大学マディソン テキサス大学オースティン校 ノートルダム大学

南米

■ブラジル/サンパウロ大学 ■メキシコ/グアダハラ大学

交換留学 Q&A

Q1: 外国語力・学力はどのくらい必要ですか?

- 多くの協定校が講義等で使う言語の検定試験の成績を受入条件に定めています。
- また、学内での派遣候補者選考では、学業成績のより優れた者に協定校への出願権を与えることが原則となっています。

Q2: 交換留学の準備には どの程度の期間が必要ですか?

- 交換留学を希望する学生は、想定する出発時期の1年から1年6カ月ほど前を目安に、所属する学部・研究科を通じて学内選考用の申請書(日本語)を提出します。
- 但し申請書を作成・提出するには、事前に自身の専攻領域にあったプログラムや履修したい講義をもつ大学を見つける必要があります。
- 学内募集は例年2月と7月(二次募集)に行います(年度によって異なる場合があります)。

Q3: 交換留学先で修得した単位は 京都大学で認定されますか?

- 留学先で修得した単位を本学で修得した単位として認める制度があります。

短期留学プログラム

京都大学では学生が国際性を養い、外国語運用能力を高める機会として、さまざまな短期留学プログラムを用意しています。その中にはグローバルに活躍する研究職もしくは専門職を育成することを目的に、世界のトップランクに位置づけられる大学で学術・研究のキャリアを積むプログラムもあります。なお、

短期留学の主な派遣先となる東アジアや東南アジア、英語圏では、プログラムの多くが本学授業期間外の8・9月や2・3月に設定されています。また、プログラムによっては滞在費や渡航費を京都大学が支援する場合があります。

※詳しくは京都大学のホームページ「国際交流・留学支援」を参照ください。

海外留学のための奨学金

[1] 海外留学支援制度(協定派遣)

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が、京都大学と学生交流協定を締結している海外の大学へ協定に基づき派遣される学生や、本学が実施する各種海外留学プログラムに参加する学生に向けて奨学金を支給する制度です。この奨学金を受けることができるのは、本学の正規課程に在籍している学部生と大学院生(外国人留学生を除く)です。奨学金は派遣先地域により月額6万から10万円、派遣期間は8日以上1年以内です。なお採用人数が限られているため、大学間学生交流協定に基づく留学者の場合、学内公募はせず、派遣が決定した学生の中から選考して受給者を決定します。その他の海外留学プログラムの場合、参加者募集の際に案内します。

[2] 官民協働海外留学支援制度

～トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム～

2020年までに我が国の学生の海外留学を倍増するという政府目標に基づき、官民が協力して海外留学を支援するために創設されたプログラムです。プログラムの特徴は、学生が立案・作成した留学計画の支援、「実践活動」をふくむ留学の支援、「日本再興戦略」など産業界からの意向をふまえた支援コースの設定、産業界の求める人材の選抜、支援企業数社による海外インターンシップ等の受入れ、留学の質を高めるための事前・事後研修、留学後のコミュニティの提供などです。

支援内容は①海外留学費用(奨学金・渡航費・授業料の一部)の給付、②留学の事前・事後研修の提供、③継続的な学習や交流の場となる留学生ネットワークの提供です。

募集コースには①理系および複合・融合系人材コース、②新興国コース、③世界トップレベル大学等コース、④多様性人材コースがあり、留学期間が28日以上2年以内(3カ月以上推奨)の計画が支援対象です。

※詳しくは下記ウェブサイトを参照ください。

<http://www.tobitate.mext.go.jp/>

[3] おもろチャレンジ

京都大学では「体験型海外渡航支援制度」として、本学卒業生の財界トップによる総長支援団体「鼎会」のプログラム「おもろチャレンジ」を行っています。学内の書類選考で選出された学生には、奨学金30万円(平成28年度実績)が支給されます。

[4] その他の奨学金

京都大学の学生を対象とする奨学金が募集された場合は本学ホームページで随時、紹介しています。また、日本学生支援機構(JASSO)にも海外留学に向けた奨学金があります。さらに同機構のホームページでは外国政府や地方自治体、民間団体からの海外留学向け奨学金が検索できるようになっています。

※詳しくは下記ウェブサイトを参照ください。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/>

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



Topics

留学生ラウンジ「きずな」

留学生ラウンジ「きずな」は、京都大学に在籍する留学生の相互交流の促進、留学生と日本人学生や教職員との交流スペースです。館内には自主学習や語学交換などができるサロンをはじめ、日本語学習者の図書室などがあります。あわせて毎月イベントを開催し、交流のきっかけを提供しています。



※詳しくは右記ウェブサイトを参照ください。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna>

大学院

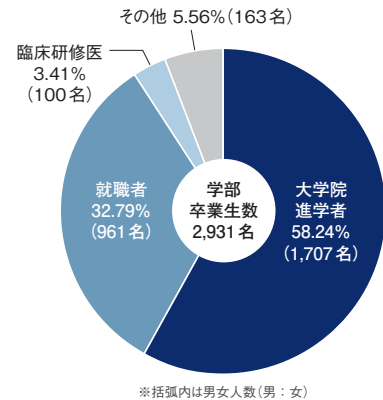
学部教育で身につけた知識や技能をさらに高度化し 次代を担う研究者・実務者をめざして学びます

京都大学の卒業生には、「自由の学風」によって培われた知性・感性・倫理性などを社会で活かすことが期待されています。また、学部卒業後の進路としては、就職か大学院進学が考えられますが、大学院進学者は全国的に増加傾向にあります。京都大学においても大学院を充実させた研究型大学の特徴のあらわれとして、平成27年(2015)3月に学部を卒業した2,803名の約56%が大学院に進学しました。

大学院への進学について

学部の卒業後、学部で身につけた知識・教養・技能を深めることをめざす場合、大学院進学を選ぶことになります。大学院の標準修業年限は「博士前期課程(修士課程)」の2年間、続く「博士後期課程(博士課程)」の3年間(課程区分を設けない一貫制博士課程は5年間)です。この間に定められた単位を修得し、必要な研究指導を受け、研究論文の審査と最終試験に合格すれば「修士」もしくは「博士」の学位が授与されます。また、いわゆる飛び級制度を認めている大学院では、指定の単位を優れた成績で取得した者(学部在籍3年以上)に入学を認め、それぞれの標準修業年数に満たなくても学位を授与する場合があります。なお学部と関連した大学院に進学するのが通常ですが、異なる分野の大学院に進学することも可能です。一般的に大学院には、学部より多種多様なバックグラウンドをもつ学生が多く集まり、多様性が増す傾向にあります。

■平成28年度 学部卒業生の大学院進学状況
(2017年4月10現在)



多様に編成される京都大学の大学院

学部をもつ大学院

京都大学の10の学部は、それぞれが大学院につながっています。
※正確には大学院重点化が行われた現在、大学院が主たる組織であり、大学院が学部教育を提供しているということになります。

学部とつながる大学院には、総合人間学部と関連する人間・環境学研究科、文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科があります。それぞれが学士課程(学部)の教育と連続し、高度な研究と教育を行っています。

独立研究科

京都大学には学部をもたない大学院課程、「独立研究科」が6つあります。エネルギー科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、情報学研究科、生命科学研究科、総合生存学館(思修館)、地球環境学舎です。いずれの研究科も多様な学部の卒業生を受け入れ、複合的学域の創出・深化に携わる研究者や実務家の養成を主眼にした大学院教育を行っています。

専門職大学院

高度で専門的な職業能力をもつ実務家を養成する大学院です。現場で活躍するスペシャリストなども専任教員として迎え、現場の複雑な問題を解決するための知識・技能の獲得をめざした教育を行っています。京都大学では、医学研究科社会健康医学系専攻、法学研究科法曹養成専攻(法科大学院)、公共政策大学院、経営管理大学院、4つの専門職大学院を設置しています。

博士課程教育リーディングプログラム

文部科学省によるこの事業は、優秀な学生を広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへ導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集するといった産学官の参画を得ています。あわせて専門分野の枠をこえて博士課程の前期・後期を一貫し、世界に通用する質が保証された学位プログラムを構築・展開するための大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府にふさわしい大学院の形成を推進しています。京都大学では「京都大学大学院思修館」、「グローバル生存学大学院連携プログラム」、「充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム」、「デザイン学大学院連携プログラム」、「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」、5件のプログラムが採択されています。

Close-up | 大学院 総合生存学館(思修館)

京都大学は地球社会の課題を総合的に分析し、解決に導く方法論や思想、政策などを幅広く探究する「総合生存学」を進展させ、次代を担うグローバルリーダーの育成につながる大学院「総合生存学館(思修館)」を開設。テラーメイド型カリキュラム、研修施設の利用による対話とディベートによる熟議、武者修行・PBRなどの実践型教育カリキュラム、複数指導教員制度などの特色ある5年一貫制の博士課程を展開しています。



■大学院と学部・適応性

	総合人間学部	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部
文学研究科 文献文化学専攻 思想文化学専攻 歴史文化学専攻 行動文化学専攻 現代文化学専攻	●	●								
教育学研究科 教育科学専攻 臨床教育学専攻	●	●	●							
法学研究科 法政理論専攻 法曹養成専攻(法科大学院)	●	●		●						
経済学研究科 経済学専攻					●					
理学研究科 数学・数理解析専攻 物理学・宇宙物理学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻 生物科学専攻	●	●				●			●	●
医学研究科 医学専攻 医科学専攻 社会健康医学系専攻 人間健康科学系専攻	●					●	●	●		●
薬学研究科 薬科学専攻 薬学専攻 医薬創成情報科学専攻								●		
工学研究科 社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻 都市環境工学専攻 建築学専攻 機械理工学専攻 マイクロエンジニアリング専攻 航空宇宙工学専攻 原子核工学専攻 材料工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 材料化学専攻 物質エネルギー化学専攻 分子工学専攻 高分子化学専攻 合成・生物化学専攻 化学工学専攻	●					●			●	●
農学研究科 農学専攻 森林科学専攻 応用生命科学専攻 応用生物科学専攻 地域環境科学専攻 生物資源経済学専攻 食品生物科学専攻	●					●				●
人間・環境学研究科 共生人間学専攻 共生文明学専攻 相関環境学専攻	●	●		●	●	●	●		●	●
エネルギー科学研究科 エネルギー社会・環境科学専攻 エネルギー基礎科学専攻 エネルギー変換科学専攻 エネルギー応用科学専攻	●					●			●	●
アジア・アフリカ地域研究研究科 東南アジア地域研究専攻 アフリカ地域研究専攻 グローバル地域研究専攻	●	●	●	●						●
情報学研究科 知能情報学専攻 社会情報学専攻 複雑系科学専攻 数理工学専攻 システム科学専攻 通信情報システム専攻	●				●	●			●	●
生命科学研究科 統合生命科学専攻 高次生命科学専攻	●					●	●	●	●	●
総合生存学館(思修館) 総合生存学専攻		●	●	●	●	●		●	●	●
地球環境学舎 地球環境学専攻 環境マネジメント専攻	●	●				●			●	●
公共政策大学院 公共政策専攻	●			●	●					
経営管理大学院 経営管理専攻	●				●	●			●	

Close-up | 京都大学ジャパングートウェイ構想

文部科学省のスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」による「京都大学ジャパングートウェイ構想」では、京都大学が国際競争力をもつ分野を中心に、世界トップレベルの大学と大学間協定を締結し、共同科目の開設や論文の共同指導・査読などを行うと共に、国際共同学位プログラム「ジョイント／ダブルディグリープログラム」の開発を進めています。

これにより、大学院教育の国際化、入試改革、外国人教員の雇用促進、留学生の受入れおよび学生の海外派遣の増加、英語による授業の増加などが進行しています。あわせて大学教育の多様な側面の国際化との相乗効果により、京都大学では研究・教育力のさらなる強化を図り、次代を担って世界で活躍するトップレベルの研究者の輩出につなげます。

キャリア支援

開かれた窓から飛び立ち
それぞれの場所で活躍するために
さまざまな支援を行っています

京都大学の卒業後の進路には、民間企業はもとより、大学院への進学、公務員、起業など、多くの選択肢があります。

京都大学では学生一人ひとりが学生生活を通じて、将来を考え、選択するためにさまざまな支援を行っています。

各学部および全学規模で就職活動についての情報提供やセミナー・ガイダンスの開催、個別相談、経済支援などを行っています(下記参照)。



合同企業説明会の開催

学部や学科規模で開催される説明会から、全学規模の大規模な説明会まで、数多く開催しています。

ガイダンスやセミナーの開催

就職活動の進め方や面接対策、公務員試験対策など、多くのガイダンスやセミナーを開催しています。また、企業や官公庁で活躍する先輩と直接交流できる機会も数多く設けています。



個別相談

キャリアプランや進路選択、就職活動についてなど、専門の相談員が相談に対応しています。



問い合わせ先

キャリアサポートルーム

TEL.075-753-2483(代表)

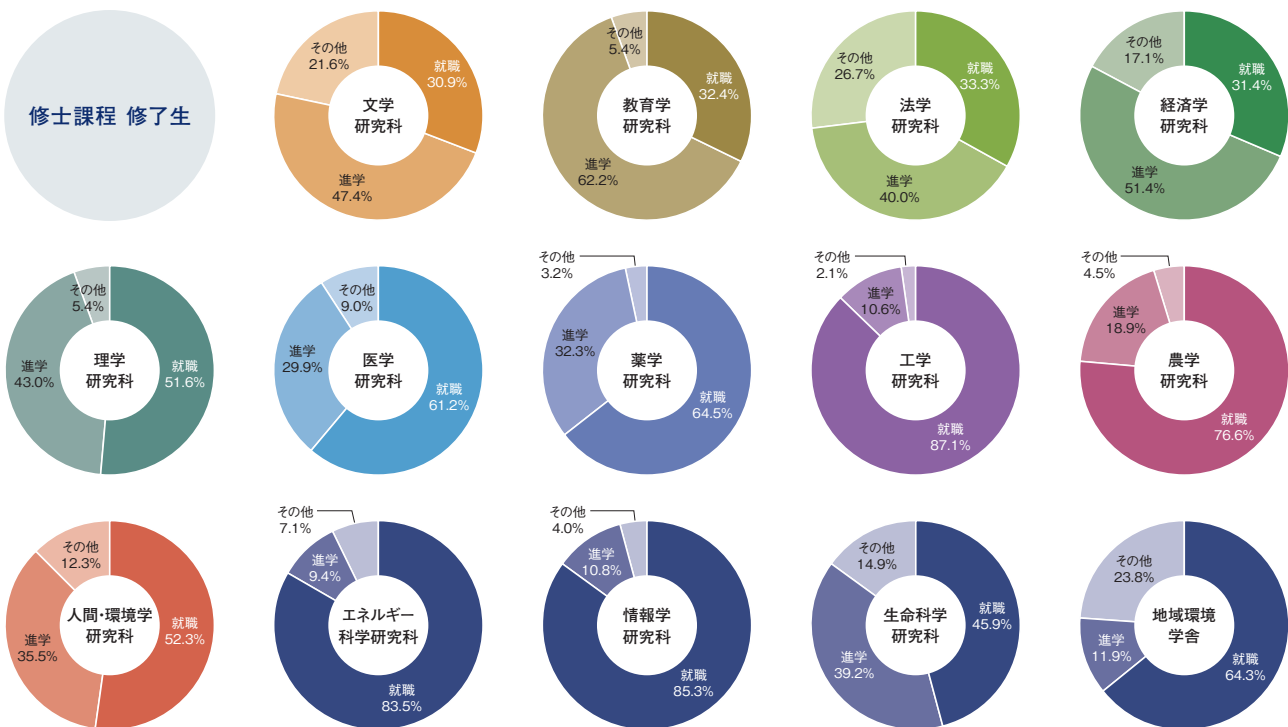
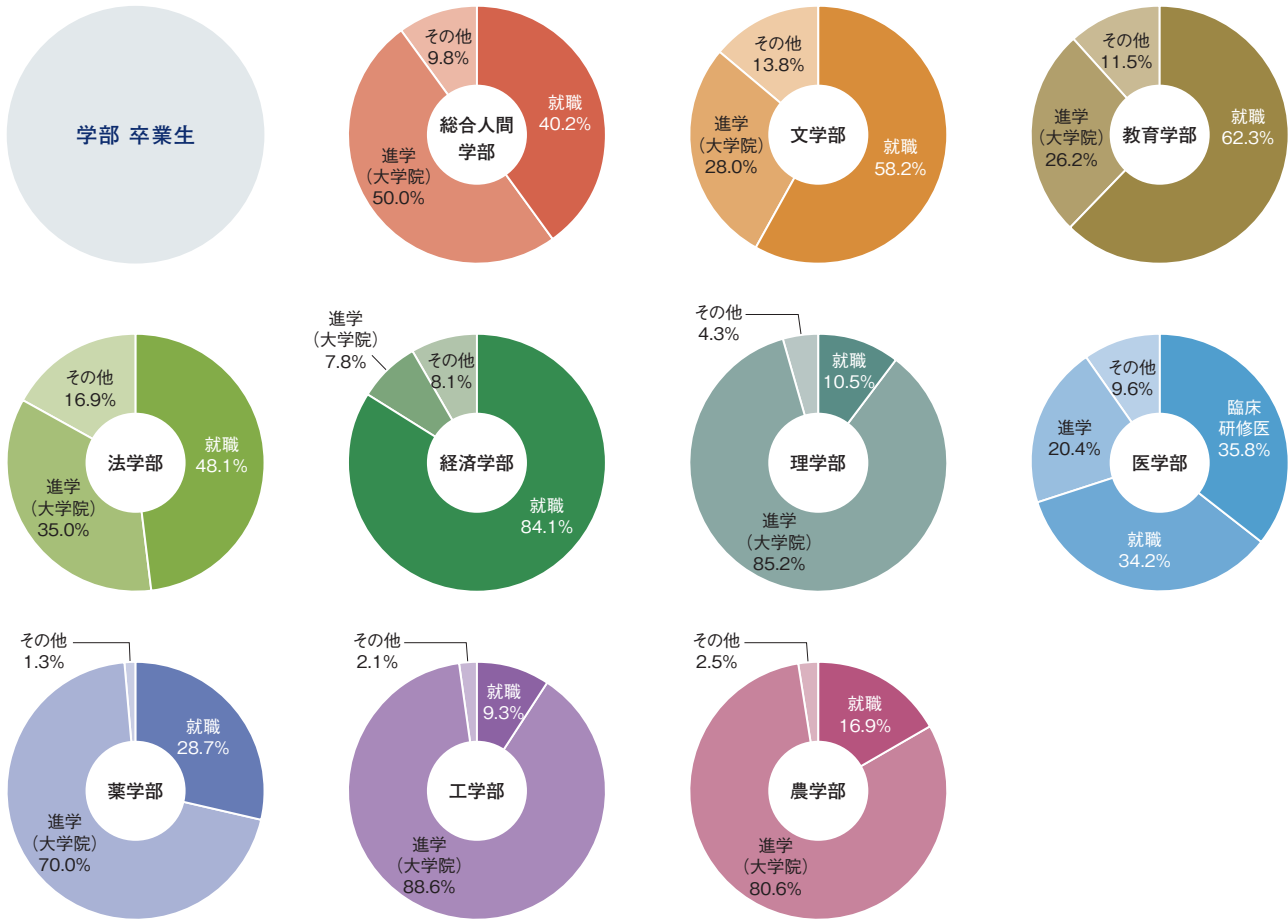
Email shushoku@mail.adm.kyoto-u.ac.jp(代表)

※詳しくは下記ウェブサイトを参照ください。

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/career/>



京都大学では大学院への進学率が高く
 修士課程・博士課程修了後の進路決定についても
 各研究科および全学組織で支援を行っています



キャリア支援